

(別記)

様式第 1 号(第 8 条関係)

設置
ばい煙関係特定施設 使用 届出書
変更

年 月 日

広島市長 様

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

第 8 条第 1 項
広島県生活環境の保全等に関する条例 第 9 条第 1 項 の規定により，ばい煙関係特
第 10 条第 1 項

定施設について，次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の 名称		※ 整 理 番 号	
工場又は事業場の 所在地		※ 受 理 年 月 日	年 月 日
特定施設の種類		※ 施 設 番 号	
特定施設の構造	別紙 1 のとおり	※ 審 査 結 果	
特定施設の使用の 方法	別紙 2 のとおり	※ 備 考	
ばい煙の処理の方 法	別紙 3 のとおり		
工場又は事業場の 面積		操 業 時 間	
常時使用する従業 員数		用 途 地 域	
資本金の額又は出 資の総額		主 要 製 品 名	

- 注 1 不用の文字は，消すこと。
- 2 特定施設の種類の欄には，別表第 1 に掲げる項番号及び施設の名称を記載すること。
- 3 ※印の欄には，記載しないこと。
- 4 変更届出の場合には，変更のある部分について，変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは，図面，表等やむを得ないものを除き，日本産業規格 A 列 4 とすること。

別紙 1

特 定 施 設 の 構 造

工場又は事業場における施設番号			
名 称 及 び 型 式			
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日
着 手 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
規 模	バーナーの燃料の燃焼能力 (重油換算 ℓ/h)		
	原 料 の 処 理 能 力 (t/h)		
	火格子面積又は羽口面断面積 (m ²)		
	触媒に付着する炭素の燃焼能力 (k g / h)		

- 注 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、別表第 1 の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
- 3 特定施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格 A 列 4 の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

別紙 2

特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号						
使用状況	1日の使用時間及び 月使用日数等	時～時 時間/回 回/日 日/月		時～時 時間/回 回/日 日/月		
	季節変動					
原材料 (ばい煙の発生に影響のあるものに 限る。)	種類					
	使用割合					
	原材料中の成分割合 (%)	硫黄分	その他の有害物質分	硫黄分	その他の有害物質分	
	1日の使用量					
燃料又は 電力	種類					
	燃料中の成分割合(%)	灰分	硫黄分	灰分	硫黄分	
	発熱量					
	通常の使用量(ℓ/h)					
	混焼割合					
排出ガス量 (Nm^3/h)		最大	通常	最大	通常	
排出ガス温度 ($^{\circ}C$)						
ばい煙 の濃度	ばいじん (g/Nm^3)		最大	通常	最大	通常
	硫酸化物 (容量比 ppm)		最大	通常	最大	通常
	有害物質 $\left[\begin{array}{c} mg/ \\ Nm^3 \end{array} \right]$		最大	通常	最大	通常
			最大	通常	最大	通常
			最大	通常	最大	通常
			最大	通常	最大	通常
			最大	通常	最大	通常
ばい煙量	硫酸化物 (Nm^3/h)	最大	通常	最大	通常	
参考事項						

- 注 1 原材料中の成分割合(%)の欄及び燃料中の成分割合(%)の欄の記載に当たっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
- 2 原材料中の成分割合(%)の欄のうちその他の有害物質分の記載に当たっては、第3条に定める大気関係有害物質の種類ごとにすること。
- 3 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 5 有害物質の欄の記載に当たっては、第3条に定める大気関係有害物質の種類ごとにすること。
- 6 ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設については、参考事項の欄に1工程中の排出量の変動の状況を記載すること。

ば い 煙 の 処 理 の 方 法

ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号									
処理に係る特定施設の工場又は事業場における施設番号									
ばい煙処理施設の種類，名称及び型式									
設 置 年 月 日				年 月 日		年 月 日			
着 手 予 定 年 月 日				年 月 日		年 月 日			
使 用 開 始 予 定 年 月 日				年 月 日		年 月 日			
処 理 能 力	排出ガス量 (Nm ³ /h)		最 大						
			通 常						
	排 出 ガ ス 温 度 (°C)		処 理 前						
			処 理 後						
	ば い 煙 の 濃 度	ばいじん (g/Nm ³)	処 理 前						
			処 理 後						
		硫 黄 酸 化 物 (容量比 ppm)	処 理 前						
			処 理 後						
		有 害 物 質 (mg/Nm ³)		処 理 前					
				処 理 後					
				処 理 前					
				処 理 後					
				処 理 前					
				処 理 後					
				処 理 前					
				処 理 後					
	ば い 煙	硫黄酸化物 (Nm ³ /h)	最 大	処 理 前					
				処 理 後					
			通 常	処 理 前					
				処 理 後					
補 集 効 率 (%)	ば い じ ん								
	硫 黄 酸 化 物								
	有 害 物 質								
使 状 用 況	1 日の使用時間及び月使用日数等			時～ 時 時間/回 回/日 日/月		時～ 時 時間/回 回/日 日/月			
	季 節 変 動								
排 出 口 の 実 高 さ H _o (m)									
補 正 され た 排 出 口 の 高 さ H _e (m)									
排 出 速 度 (m/S)									

- 注 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に，使用届出の場合には設置年月日の欄に，変更届出の場合には設置年月日，着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄にそれぞれ記載すること。
- 2 ばい煙の濃度は，乾きガス中の濃度とすること。
- 3 有害物質の欄の記載に当たっては，第3条に定める大気関係有害物質の種類ごとにすること。
- 4 補正された排出口の高さH_eは，別表第2の付表2の算式により算定すること。
- 5 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。